

平成29年8月15日発行

2017年

8月号

年4回発行(1. 4. 7. 10月号)

No.1075

(学法)日本力行会

RIKKO SEKAI No.1075 力行世界 平成29年8月15日発行 (1)

# アリコ

# R I K K O S E K A I



### 会館生バス旅行　日光・東照宮にて

創立1897年1月1日



## 目 次

バス旅行	2・3	小竹図書館よみきかせ	9
ラボ1泊ホームステイ	4・5	留学生、移住関連記事	10・11
りっこう幼稚園だより	6・7	ブラジル研修生報告	12
平和台児童館出前授業	8	力行だより、会費のお願い	12

# バス 旅 行

去る5月21日に会館生バス旅行で日光に行って参りました。

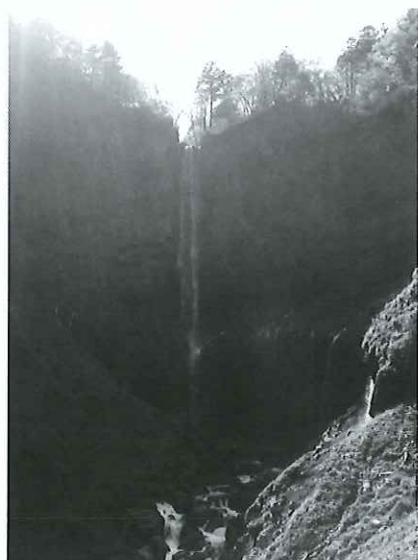
日本の文化と食事を留学生に知つてもらうために、日光東照宮を参拝し、湯葉料理、華厳の滝をまわり、日本の江戸時代の街並みを再現した羽生パーキングエリアを通る旅を企画しました。

改修をしたばかりの日光東照宮の陽明門は、白い塗装が際立つ新たな出で立ちでした。この時も多くの観光客でにぎわい、会館生は人々をかいくぐりながら、奥の宮を目指しました。天候に恵まれて、良い景色と日本の伝統建築を心行くまで楽しんでいた様子でした。

その後に移動した華厳の滝では、思い出に残る良い集合写真が撮れました。以下のページに3名の会館生の感想文を掲載いたします。

5月21日、日曜日に遠足で行きました。発車の時間は朝でした7時に出かけました、ちょっと暑かったです。

神社に初めてでした、でも、すごい込んでいました。本当にきれいでした。



私が図面の内容に感銘を受けました、大変のは多くの階段をのぼるのときでした。

もう一回いきたいと思います、楽しかったでした。

高垣留美マヤラ（ブラジル）

## バスツアー・日光

今回初めて日光へ行きました。研修へ来てからの初めてのツアーでもあります、楽しみにしていました。

神社なのに特に興味もったことはありませんでしたが、今回のツアーで初

めて本当に面白いと思わせていただきました。

まず、建物自体の素晴らしさに驚きました。外側だけではなく、中にも細かいところまで様々な絵が描いてあり、カラフルになっていてとてもきれいでました。思わず天井までずっと見て

いました。

それに、徳川家康のお墓があることも知りませんでした。昔はそのような場所にはとても地位の高い人ではないと入れなかつたようですが、今では誰もが見えるようになっているのにびっくりしました。



次に華厳の滝へ行き、またとてもきれいな場所でした。東京にいると建物ばかりですが、日本にはこんな素晴らしいところがあるんだなと改めて思いました。

いいところがたくさんあるのでしょうと思いました。また様々なところへ行きたいという気持ちになりました。

これからも研修を頑張っていきながら日本の素敵な面を色々見ていきたいと思います。

梶原久保美マルシア（ブラジル）



## NIKKO Trip Review

Overall, I think it was a very well organized. We stuck precisely to the schedule which is something that I always do. At Nikko, we were able to take our time and visit every section of the shrine. Afterwards, we had a wonderful lunch and spent time looking at different kinds of gifts. However, I personally feel as though we spent a little too much time at the gift shops. When we departed to the waterfall, I was extremely excited. As soon as we got there, we only had a limited time so I felt like it was a bit rushed. I wanted to look at different shops at the waterfall and

look at different sceneries around the parking lot but we did not have any time.

I think for the next time, it would be great to give a little bit more time at the waterfall because it was

truly a wonderful sight. There was also more to do. With this bus trip, I was able to make new dorm friends which made my stay at Rikko Kaikan better.

Daiva Simkunas (USA)



## ラボホームステイ交流会はしりかき

本年度もラボホームステイ交流会が実施され、今回で30周年を迎えました。本年度はアメリカ、ブラジル、ペルー、マレーシアの会館生が参加し、特に、ラボホームステイ交流会始まって以来初めて多数のアメリカ人会館生が参加し、アメリカ人と日本人の相互理解にもつながりました。

一泊二日のプログラムでは、初日は石神井区民交流センターにて、ラボメンバーのホストファミリーと交流会でゲームや食事、お国紹介を行い、その夜から次の日にかけてホストファミリーと思い思いの時間を過ごしました。  
会館生の感想と喜びの声をお届けします。

第30回ラボ一泊ホームステイ交流会アンケート (2017.6.10-11実施)  
 Questionnaire for the 30th LABO Youth Gathering and One-day Homestay Program  
 ラボ・パーティ 西武地区

この度は、ラボ一泊ホームステイ交流会にご参加下さいましてありがとうございました。

今後よりよい交流のために、以下のアンケートにご協力をお願いします。  
 Thank you very much for your participation in our Youth Gathering/ One-day Homestay Program.  
 Please fill out a questionnaire below for our next opportunity of this program.

1. 交流会は、いかがでしたか? What do you think about the gathering you attended this time?

The gathering was a lot of fun. I was able to meet a variety of different people and learn a diversity of cultures. The games that were provided truly made this experience better.

2. 一泊ホームステイはいかがでしたか? Have you enjoyed your one-day homestay? Please tell us what you felt during the homestay experience.

At first, I was extremely nervous because I was not sure of what to expect during my homestay. Despite a big language barrier, the むちたまり family were very understanding thus, making my experience more enjoyable.



第30回ラボ一泊ホームステイ交流会アンケート (2017.6.10-11実施)  
 Questionnaire for the 30th LABO Youth Gathering and One-day Homestay Program  
 ラボ・パーティ 西武地区

この度は、ラボ一泊ホームステイ交流会にご参加下さいましてありがとうございました。

今後よりよい交流のために、以下のアンケートにご協力をお願いします。  
 Thank you very much for your participation in our Youth Gathering/ One-day Homestay Program.  
 Please fill out a questionnaire below for our next opportunity of this program.

1. 交流会は、いかがでしたか? What do you think about the gathering you attended this time?

It was so much fun! It was a little nervous at first but when we started playing games and learning folk dances it had a lot of fun. The staff were incredibly helpful and friendly. I would love to have played more games that encouraged talking with the host families and getting to know each other.

2. 一泊ホームステイはいかがでしたか? Have you enjoyed your one-day homestay? Please tell us what you felt during the homestay experience. This is one of the best experiences I've had in Japan yet. It's been such enjoy getting to know my host family and learning from them. They are incredibly kind and warm, they have treated me so amazingly well since I first met them. 100% would do this again!

第30回ラボ一泊ホームステイ交流会アンケート (2017.6.10-11実施)  
Questionnaire for the 30th LABO Youth Gathering and One-day Homestay Program  
ラボ・パーティ 西武地区

この度は、ラボ一泊ホームステイ交流会にご参加下さいましてありがとうございました。

今後よりよい交流のために、以下のアンケートにご協力をお願いします。

Thank you very much for your participation in our Youth Gathering/One-day Homestay Program.  
Please fill out a questionnaire below for our next opportunity of this program.

1. 交流会は、いかがでしたか？ What do you think about the gathering you attended this time?  
It was a lot of fun! I enjoyed the activities and presentations very much! I also got to meet and speak with a lot of new people, which was exciting.

2. 一泊ホームステイはいかがでしたか？ Have you enjoyed your one-day homestay? Please tell us what you felt during the homestay experience.  
I really have enjoyed my one-day homestay. My family is so kind and helpful! I'm so very glad I got to meet and spend time with them. They answered a lot of questions I had and were generally amazing!

第30回ラボ一泊ホームステイ交流会アンケート (2017.6.10-11実施)  
Questionnaire for the 30th LABO Youth Gathering and One-day Homestay Program  
ラボ・パーティ 西武地区

この度は、ラボ一泊ホームステイ交流会にご参加下さいましてありがとうございました。

今後よりよい交流のために、以下のアンケートにご協力をお願いします。

Thank you very much for your participation in our Youth Gathering/One-day Homestay Program.  
Please fill out a questionnaire below for our next opportunity of this program.

1. 交流会は、いかがでしたか？ What do you think about the gathering you attended this time?  
楽しかった。色々な友達をして交流ができる。また参加したいと思っている。

2. 一泊ホームステイはいかがでしたか？ Have you enjoyed your one-day homestay? Please tell us what you felt during the homestay experience.  
とても良かった。皆と話したり、おもてなししていい経験ができたと思う。  
機会があればまたみんなと会ってみたい。感謝している。

第30回ラボ一泊ホームステイ交流会アンケート (2017.6.10-11実施)  
Questionnaire for the 30th LABO Youth Gathering and One-day Homestay Program  
ラボ・パーティ 西武地区

この度は、ラボ一泊ホームステイ交流会にご参加下さいましてありがとうございました。

今後よりよい交流のために、以下のアンケートにご協力をお願いします。

Thank you very much for your participation in our Youth Gathering/One-day Homestay Program.  
Please fill out a questionnaire below for our next opportunity of this program.

1. 交流会は、いかがでしたか？ What do you think about the gathering you attended this time?  
とても楽しかったです。留学生と同じ寮に住んでいても、話したり、一緒に何かをしたり、関わる機会が少ないので、このようなイベントに参加してよかったです。様々な国の文化や食べ物を紹介してもらい、勉強になりました。色々な国に行ってみたいと思いました。

2. 一泊ホームステイはいかがでしたか？ Have you enjoyed your one-day homestay? Please tell us what you felt during the homestay experience.  
とてもよかったです。4人家族の家にお世話になり、2人の子ども(1歳、4歳)がとてもかわいくかったです。一緒に遊んだり、好きなキャラクターやおもちゃをたくさん教えてもらったり、見せてもらったりしました。英語で話す機会が多かったので、英語で話す自信がつきました。日本との違いをたくさん質問をされて、日本との違いを教えてもらいました。「ブラジルに行ってみたい」という言葉がとても嬉しかったです。どうぞよろしくお願いします。



## Home-stay Review

As someone who has never done a home-stay visit, overall, I really enjoyed it. As we were all getting ready to leave Saturday morning, I became very nervous. Especially when we got to LABO headquarters and saw a room filled with children. Although some students were able to speak English, it made me very nervous and I began feeling uncomfortable. I assumed that the home-stay would be a very bad experience because of that discomfort environment. However, I was wrong. My family were incredibly nice. My host-mother did not speak any English so it was difficult to communicate with her but she spoke Japanese very slowly which helped a lot. My host-father also tried to concentrate on all Japanese. They were very kind. The following day was also very fun. We visited a park that neither of the parents have gone to. All three of us played catch with a baseball. I greatly appreciate that we had similar hobbies so the conversations became more relaxed and exciting.

As mentioned, in the beginning I was very nervous and anxious about the home-stay. I was not sure what to expect and there was a point in time where I thought I may have made a mistake in signing up. However, after experiencing what it is like... I am extremely glad I was able to participate and intend on keeping contact with my host-family as much as possible.

学校法人

# りつこう幼稚園だより



## 親子体操

すみれ組 寺尾 夏枝

6月18日（日）幼稚園では親子体操が行なわれました。昨年度は園庭がまだ使用できなかったため、新園舎になってから初めての外での親子体操となりました。子どもたちもこの日を楽しみにしており「あと〇日したら親子体操だね！」と指折り数え期待の気持ちを膨らませていました。事前には、一人ひとりと似顔絵のプレゼントを準備し「パパは眼鏡してるんだ！」「お髭がいっぱいなんだよ!!」などのお話をしながら笑顔で描き進めていきました。『すてきなパパ』の歌も絵と一緒にプレゼントすることとし当日まで秘密にして驚かせようとみんなで考え、お家の方の反応を楽しみにしています。

た。そして迎えた当日。登園からハイテンションな子どもたち。広々とした園庭にお家の方と一緒に広がり親子体操がスタートです。手を取り合ってお尻叩きをしたり、肩車をしてもらいキンさんに変身したり、お家の方が抱っこしてくれて少しずつ上へと昇っていくエレベーターをしてもらったり…。最後には頑張ってくれたお家の方へマッサージをしてあげました。クラスへ入ると、次は子どもたちからのプレゼントを渡す時間です。お家の方には目を

つぶっていてもらい準備し「ありがとう！」の言葉と一緒に絵を渡すとその瞬間お部屋は笑顔に包まれ、歌い終わるとたくさんの拍手をもらい、子どもたちもうれしい気持ちを存分に味わいました。いつも近くで見守ってくれているお家の方へ感謝の気持ちを持ちながら、たくさんのスキンシップと共に笑顔あふれる温かなひとときとなりました。



## 春の遠足

ももぐみ担任 内田 麻衣

少し暑さを感じる程よく晴れた5月19日、ゆりぐみはクラスのお友だちと、ももぐみ・すみれぐみはお家の方も一

緒に、東武動物公園へ行きました。

毎日「あと何回寝たら？」と遠足までの日を教え、楽しみにしていた子ど

もたち。当日、目の前に来た大きなバスに大喜び！バスの中では「大型バス」や「おべんとう箱」等の手あそびをしたり、クイズをしたりと、動物園への期待が益々高まっていたようでした。動物園に到着すると、ホワイトタイガーやぞう、水の中に思いきりとびこ



むくまに歓声をあげて、お家の方やお友だちと様々な発見や楽しさ、面白さを共有する子どもたち。みんなで食べる外でのお弁当・おやつ交換は、いつも以上に特別美味しい感じたようでした。午後は各自自由行動をして、好きな動物をじっくり見たり、ひよこやうさぎを触ったり、ガチョウを追いかけたりと存分に楽しんだようで、帰りのバスの中ではぐっすりと眠る姿も多くみられました。遠足後も「ベンギンいたよね！」「大きなバスに乗ったのが楽しかった！」「ひよこ触ったんだよ！」と、お友だちや保育者と一緒に、見たことや感じたことを伝え合い笑顔いっぱい！ 素敵な思い出となったようです。

これからも行事や活動の中でたくさん心を動かし、みんなで思いを分かち合いたいです。

## 納涼会

もも3組担任 山路 愛里

一日中お天気が良く、気持ちの良い快晴だった七月七日。「また明日」ではなく「またあとでね」といういつもとは違う降園時の挨拶は年に一度この日だけの特別なものです。夕方、お店屋さんのオープンとともに、浴衣や甚平姿の子どもたちがおうちの方と一緒に集まってきた。学年ごとのお店でもらったおみやげを手にし、お友だちと嬉しそうにはしゃいでいるうちに空はすっかり暗くなってきました。提灯に明かりが灯り、いよいよ盆踊りの始まり！盆踊りはこの日に向けて幼稚園で何度も踊ってきたものです。「今日は〇〇音頭がいい！」「今度、夜に踊るんだよね」「あと何回寝たら？」「私はピンクの浴衣だよ」「花火もある

んでしょ？」と本番を楽しみにしてきました。アンパンマン音頭、ちびまるこちゃん音頭、しんちゃん音頭、ドラえもん音頭…園庭に流れる盆踊りの音楽と太鼓の音に合わせて楽しく踊ることができました。そしてアンコールはおうちの方も一緒にみんなが大好きなドラえもん音頭。楽しい時間はあっという間に過ぎて

いきました。盆踊り後はお待ちかねの打ち上げ花火！りっこう幼稚園の園庭に上がる大迫力の花火に子どもたちもおうちの方も職員もみんなで見惚れてしまいました。在園生も卒園生もおうちの方も、たくさんの方が集まり、いつもの園庭とは違う雰囲気で夏を感じることができたひとときとなりました。素敵な七夕の夜でした。



## お泊り保育

ゆりぐみ 伊藤 理佳

7月20日・21日にゆりぐみのお泊まり保育を行いました。当日まで、それぞれのクラスでテーマを決め、お部屋の飾り付けをしたり、朝ご飯を作るおにぎり作りの練習をしたりと期待を持って準備をする子ども達の姿があり

ました。また、「夜眠れるかな」と心配するお友だちには、「みんながいるから大丈夫」「手をつないで寝よう？」と声をかけ合い、支え合って当日を迎えようとする姿も見られました。

お泊まり保育一日目は、礼拝から

始まり、夜ご飯のカレー作り、外・プール遊び、お風呂、夜ご飯、キャンプファイヤーと多くの活動を行いました。特に自分達で作ったカレーは特別だったようで、「これ僕

が切った人参だ！」「おかわりしてください！」とみんなで美味しく味わう姿が見られました。夜は、それぞれのクラスでお布団を敷き、お友だちと肩を寄せ合いぐっすり眠る、子ども達の可愛い寝顔を見ることができました。2日目も、朝ご飯のおにぎり作りや荷物整理など一つ一つの活動に楽しそうに取り組む姿がありました。

子ども達にとって、お家の方と離れ、不安や寂しさなど様々な思いで挑んだ2日間でしたが、お泊まり保育の一つ一つの活動を通して、改めて「友だち」の存在の素晴らしさ、大切さ、心強さを感じられたのではないかと思います。これからも、友だちを大切に、お泊まり保育の2日間を自信につなげ様々なことに挑戦していってほしいと思います。



# 平和台児童館出前授業

6月14日、平和台児童館での国際交流出前授業「世界と遊ぼう」にりっこう幼稚園ブラジル人研修生の梶原久保美さんと高垣留美さんに参加して頂きました。

昨年のブラジル人国費留学生のお国紹介に続き、今年もブラジルのお国紹介を致しました。

お国紹介の前には、子どもたちにまじってチャンバラ遊びに参加させて頂きました。驚くほど勢いよく剣やカギ縄、 Nunチャクを振り回して戦う迫力

に圧倒されました。

子どもたちに向けて、ブラジルにすきはあるかというクイズから、多様な人種の写真を写しだして、誰がブラジル人であるかななど、小さなクイズから国際理解につながるクイズまで出題し、子どもたちは興味津々で大喜びで

した。研修生からは、ブラジルの人間縄遊びを紹介し、子どもたちに大変好評で、研修生も子供達との交流を大変喜んでおりました。これからも当会から日本と世界との草の根の国際理解活動を続けて参ります。



# 小竹図書館国際交流お話会

毎月最終水曜日、小竹図書館にて当会の留学生が絵本の読み聞かせを地域の幼児・児童に向けて行っております。絵本を母国語で読み聞かせて、母国の紹介もしています。子ども達には、外国の言葉を直接耳にする機会となり、留学生にとっても子ども達の前で話す貴重な機会となって大変喜んでおります。地域の方々と世界に住む人々との交流を促進して参ります。

ブラジル人研修生



アメリカ人留学生



# 留学生、移住関連記事

## 伯人初の ディズニーアニメ監督

伯国で1月5日に公開されたディズニー映画『モアナ（邦題：モアナと伝説の海）』の同時上映作品『トラバーリヨ・インテルノ（インナー・ワーキング、以下IW）』。安定志向の主人公が人生の楽しみを求めて葛藤する様子を描いた約6分の短編アニメだ。伯人初のディズニーアニメ映画の監督となつた日系伯人の松田レオナルドさん（35、二世）＝米国カリフォルニア州在住＝の影には、日本で働いて学費を稼いだ母の姿があった。ひたむきに夢を追いかける松田さんに話を聞いた。

聖州サンジョゼ・ドス・カンポス市で生まれた松田さんは幼い頃から絵を描くことが好きだった。父は戦後移民、母は三世だった。10歳頃に母が訪日就労し、その後は祖母と暮らした。「祖母は僕の第二の母。文協の野球クラブの練習に連れて行かれることもあった」と振り返った。

松田さんは宮崎駿監督の作品や「ダンボ」などディズニー映画の魅力に取り付かれ、15歳でアニメーターを目指し始めた。99年にマッケンジー大学の

夢叶えた松田レオナルドさん  
母はデカセギで学費仕送り  
ニッケイ新聞 2017年5月17日（水曜日）

製品デザイン科に入学し、さらにマウリシオ・デ・ソウザのアニメスタジオでアシスタントとして3年働いた。

大学卒業後すぐに「世界のアニメが知りたい」と米国のカリフォルニア州サンディエゴ市の語学学校に留学した。同地の豊かなアニメ文化に触れ、ウォルト・ディズニー・アニメーション・スタジオで働くことを志すようになった。そしてアニメーションを一から学ぶため、カリフォルニア芸術大学（CalArts）に入学した。

松田さんは2002年当時を振り返り、「本当に大変だった。言葉も文化も違うし、前年にアメリカ同時多発テロがあり、当時は『外国人』に対する風当たりの強さに悩んだ」と語った。

1961年にウォルト・ディズニーと兄のロイが関わり設立された同大学は、ディズニースタジオで働く著名なアニメーターの多くを輩出している。松田さんは同大学卒業後、ピクサーなどのアニメ制作会社で働き、2008年末にディズニーから仕事を打診されようやく入社した。

「目標達成のためには多くの代償が

必要だ。簡単な道のりではなかった。CalArtsの学費は日本で再婚をしていた母と義父が借金して支えてくれた。そのおかげで入学が叶った」と感謝した。母は埼玉県などで工場労働からはじめ、現在も英会話教師をして働いているという。

松田さんはストーリー課に所属しており、普段は助監督を行っている。今までにも「ズートピア（2016）」「オペラソン・ビッグ・ヒーロー（2014、ベイマックス）」「デトナ・ラルフ（2012、シュガー・ラッシュ）」などの制作に携わったそう。2014年には短編アニメの監督に選ばれたことを振り返り、「自分の可能性に期待してくれたジョン・ラセター製作総指揮をはじめ周りの人全てに感謝している」と述べた。

およそ2年間の初監督業は困難の連続だったようだ。「脚本を準備した状態でスタートしたけど、監督として40人からのチームを動かすのは簡単なことではなかった。目標を見失いそうになることもあった」と振り返った。IWの物語は自身が持つ「日伯の性質」から発案したそう。

「規律的な日本人の性質、冒險好きで活発な伯人気質。IWの中でも同様の悩みを抱える主人公が描かれている」とのこと。日系人らしさが結晶化されている作品だ。

## 樹海 知られざる在日日系社会の厳しい現実（上）

ニッケイ新聞 2017年6月6日（火曜日）

「35歳でオバアチャンっていうのが、あちこちにいるんだよ」——日本の大手派遣会社アバンセの林隆春社長が先月末に来社した折り、日本のデカセギ事情を聞いている最中に、そう言われて頭を抱えた。つまり、17歳ぐらいで出産を二世代に渡って繰り返している▼将来のことを深く考えずに訪日し、工場労働ばかりする両親は、子供の教育のことを考えない傾向がある。両親は残業、残業でろくに面倒をみない。子供は学校から落ちこぼれて不良化

し、同じ様な仲間と集まって恋愛し、すぐに子供を作る。デカセギ・コミュニティの中にはそのような集団が相当数いるという▼コラム子は「2008年の金融危機の直後に大量帰伯した。その時に日本に残ったのは、日本の工場から『ぜひ残って欲しい』と嘱望された優秀な人材が多かったのでは。中には、ブラジルに帰るに帰れない人もいたとおもうが」と訊ねると、「違うよ。帰るに帰れない人の方がかなり多かつた」と即答▼林社長は「ぜひ残ってく

れと工場から頼まれたような人は少ない。みんなバカじゃないから、学歴がない自分たちがブラジルに帰っても口クな仕事に就けないことは良く分かっている。日本語もポルトガル語も、それなりにしゃべるけど、ちゃんとした読み書きはどちらもダメ。そんな人材はブラジルに帰るより、日本に居た方がいいって思っているんだよ」と即座に反論され愕然とした▼しかも金融危機後の大量帰伯で、日本側のコミュニティアは崩壊してしまったのだとう。ブラジリアンプラザ設立趣意書にも『労働意欲やスキルの高い日系人が帰国し、派遣会社では一時的に管理者や通訳者にも事欠くほど、有為な日系人材が不足することになりました。加

えてメンター（指導者）人材も帰国。日系人社会は連帯をなくし、羅針盤となる人たちが消え迷惑を深めることとなりました》とある。それを補うために、林さんは同プラザを群馬県大泉町のコミュニティセンターとして再出発させようとしている▼生活保護も日本残留を後押ししているという。「できそうな仕事を紹介してやつても、計算してみると生活保護の金額の方が多かったりする。『そんなら生活保護のがいい』って断るんだ」という現実がある。つまり在日ブラジル人の相当数が生活保護をもらい、悲しいことに日本の納税者にぶら下がっている▼しかも「生活保護は子供が多いほど高くもらえるので、子供が次々に生まれることに抵抗がない」と聞き頭を抱えた。ブラジル国内の下層階級と同じ思考回

路で、「日系人」と呼ばれる人々が日本で生活をしている。そこから抜け出すには公教育を受けて、社会上昇するしかない▼ところが、同趣意書には《日本は義務教育全入学といいますが、（日系人の中学校）卒業者は約60～70%という現状、日本語が弱い日系人は進路指導も満足にない現実、療育手帳もない持たない公的支援の存在すら知らない障がいを抱えた子ども達は少なくありません》とある。外国人の場合、登校せず学力がなくても、自動的に中学卒業資格を与えられてしまう。「義務教育」というのは、「義務的に全員に学歴を与える」ことではなく、「全員に最低限の教育内容の取得を義務付ける」ことではなかったか▼中学の卒業者が6～7割なら、高校卒業者はその半分以下だろう。デカセギ第2世代

が日本に適応して、8割が高卒になつていれば、少なくとも日本社会のことを良く理解して、地域住民との軋轢は相当に弱まる▼第2世代に投資して日本の公教育を受けさせることが、デカセギ受入れの最大の鍵のはず。それなのに、学校から落ちこぼれるままになっているから、どんどんと日本社会の最底辺に沈むような存在になり、幼くして子供を次々に生むような集団になってしまう▼日系人が日本に行ったことで将来的に貧困層化するなら、行かない方が良い。目先の高い賃金に付られて「将来」を売ることになる。日本の産業社会の最底辺で使い捨てにされるなら、四世は日本に行かない方が良い。皆さんはどう思いますか？

(深)

## 樹 海

### 知られざる在日日系社会の厳しい現実（下）

ニッケイ新聞 2017年6月9日（金曜日）

日本の大手派遣会社アバンセの林隆春社長の話を聞き、「在日日系人の多くは、ブラジルの貧困層を日本に再生産しているだけ」という部分があると痛感した。デカセギブームが始まった90年代前半、「先進国日本に行くんだから、連れて行った子供もブラジルより良い教育が受けられるはず」ぐらいの楽観的な気分だったが、約30年経った現在、それが「単なる幻想」だったことは明らかだ▼日本レベルの教育が受けられるのは、日本人とごく一部の外国人だけ。単純労働者として入った外国人の子供が、公教育に適応して社会上昇することは、よほど親子共に頑張らない限り難しい。林さんに「日本の産業界では、長期滞在できる日系人を、他の短期滞在外国人の上に立つ中間管理職として登用したり、熟練工に育てて日本人の後継者の存在にする場合も出てきているのでは」と質問すると、「そういう人もいるが少数」という厳しい答えだった▼林さんは「多くのブラジル人は『流動層』として産業界から“重宝”されている。というのも技能実習生は同じ職場で働く制限があるから、人手の需要の変動に応じてあちこちに移動させれない。ところが日系人は需要に応じてホイホイと便利に使える。だが50代

半ばになれば、そんな仕事もなくなる」と説明した。残酷な現実だ▼工場の単純労働以外、たとえば長距離トラックの運転手や熟練工の仕事にも日系人は就き始めている。だが、その多くは産業のロボット化によって、近い将来なくなる仕事とみられている。だから日本人の若者がやりたがらない。そこで流動的で便利な日系人に頼る。悲しいことに、日本産業界はそんな残酷な仕組みになっているらしい▼ブラジリアンプラザ設立趣意書は、日系人高齢化問題も指摘する。《日本の日系ブラジル人社には「老い」の現実が迫っています。今後60歳以上の人は毎年2000人増となり、5年後には毎年2500名ほどが仕事人生をリタイヤ（退職）していきます。その多くが厚生年金や国民年金の満額受給期間は加入していません。働く人生を終えた後、彼らは健康寿命が約15年間、介護寿命が5～6年間、そして要介護の状態で0.6年間という気の遠くなるほど長い余生を過ごす。そんな在日日系人の大多数が人生の最後を日本で迎えることとなりそうです》。恐ろしい未来予言だ▼林さんは「現在一番人気が多い年齢層は40代後半、すでに10～20年働いている日系人だ。彼らの仕事は50代半ばまでで、60歳までは難し

い。彼ら自身に危機感が薄い」と明かした。「いずれ彼らのための老人ホームが必要になる」とも。だがタダの施設はない…▼さらに林さんは《日系人の老いも非正規化も家族の分断も止まることはありません。必要とされる社会インフラもブラジル日本文化福祉協会、サンパウロ日伯援護協会のような社会連帯、経済団体そして福祉を目的とする団体はありません》と当地と比較する▼横浜に「海外日系人協会」があるが、外務省の外郭団体で、外国在住の日系人と日本政府をつなぐ存在だ。不思議なことに、外務省は国外で日系人を支援する姿勢を保ち続けてきたが、同じ日系人が日本国内に入って管轄が通産省、厚労省、文科省等になった途端に「使い捨て人材」にされてしまう▼海外日系人協会は今後、省の枠を超えて、国内向きの日系代表団体の役割を強めるべきではないか。デカセギ第2世代を日本産業界の将来の国際戦力、多文化人材として育て上げる方向性を強めるべきだと思う。ブラジル側日系団体もその方向に向け、日本政府に圧力をかけていい▼一つ考えるべきは、何が「日本の国益か？」という問題だ。たんなる「日本人の一」ではなく、「日本に永住する全住民の一」こそが、グローバル化時代の「国益」ではないか。であれば、日本国籍でない子ども達にも日本人並みの教育を与えることは当然だ。この動きはきっと、東京ではなく地方から始まる気がする。

(深)

## 平成29年ブラジル研修生自己紹介

両親は金光教という宗教の教師で布教のため、1991年にブラジルへ行くことになりました。私は両親がブラジルへ行った同じ年に生まれ、そのままブラジルで育てられました。親が日本人なので、子供の時から日本語は使っていましたが、久留米弁(福岡)を使っていましたので、大人になるまでそれが日本語だと思っていました。ブラジルではあまり他の日本人と関わる機会がなく、両親も少しずつポルトガル語も混ぜて話すようになり、難しい単語や“です”“ます”も使うことなく、もちろん、漢字など読めませんでした。

大学受験の頃、何学部にするか迷っていたとき、住んでいる町の有名なパラナ連邦大学が2年前に日本語学科という学部ができたのを聞き、2011年に入学しました。

そこで日本語、日本文化、文学などを勉強し、2015年に1年間の留学をしました。その留学の終わりごろ、日本語検定試験N1を受け、無事合格しました。留学が終わり、ブラジルであと1年間大学へ通いましたが、日本語

の授業はもうなく、教育などの講義ばかりで、日本語の勉強や、漢字を読むのも少なくなりました。

今年の1月に大学を卒業し、こちらでの研修が決まっていたので、仕事を探さないまま来る日を待っていました。しかし、バイトの形で日本語教師や翻訳の仕事などしていました。

### 1ヶ月目の研修の感想

仕事を覚えるまでは大変でしたが、今はもうだいぶ慣れてきました。こどもや先生方の名前を覚えるのも大変でした。仕事という形で日本へ来るのは初めてなので、留学した時とは全く違うことに気づかされました。仕事場の雰囲気や仕事仲間との関係もブラジルとは全く違いました。

私はこどもが大好きなので、どんなに仕事が大変でも、やっぱり子供たちがかわいいので頑張ることができます。

またこれから1年間で子供たちがどう成長していくか楽しみです。

梶原久保美マルシア  
(パラナ州クリチーバ出身)

高垣マヤラ留美です、24歳です。ブラジルから来ました、よろしくお願ひします。3人兄弟です、姉と兄と私です。

両親は農業で働いています、私が事務所でお母さんのてつだいをしていました。ブラジルの大学でグラフィックデザインを卒業しました。

日本語を4年間ぐらい勉強しましたが、日本語をもっと勉強したいと思っています。

初めて日本へ来たのが5歳だったので、また日本へ来たい気持ちで3ヶ月間のアルバイトを通して5年前に日本へ来て、名古屋のデザート工場で働きました。

将来は子供の先生になりたいと思っています。しかし、ブラジルで働くか日本で働くか迷っています。

高垣マヤラ留美

### 日本力行会機関紙「力行世界」定期購読会員ご加入のお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当会はお陰様で創立120年を迎えました。「日本民族の靈肉救済」を旗印に、苦学生及び渡米希望者に支援や便宜を与え、さらに青年の移住斡旋や現地教育にも傾注し、北米、中南米、東南アジア、旧満州へ約3万人の移住者を送り出し今日に至っております。

創立80周年には、記念事業として創立理念をさらに発展させ、“世界と日本の架け橋となる人材育成”“海外同胞との連携強化”などの実現を目標に、留学生宿舎・「国際交流会館」を新設し、各国からの留学生を迎えて、日常生活を通して日本文化を習得しながら修学や研究に励めるような環境つくりと支援活動を続けて参りました。

ご賢察の通り、この約40年間に円価格の激変などの日本経済及び世界的位置づけの変容により来日に感謝すべき時代を迎えた今、留学生の来日数や留学目的も変わり、公益の法人といたしまして資力不足ながらも、関係先との諸問題の解決や支援活動の強化や充実にも拘らず、在日留学生の生活環境はまだまだ十分と申し上げる状況ではございません。

つきましては、より積極的な国際交流の継続をご理解頂き、当会活動理解の為、『日本力行会機関紙「力行世界」定期購読会員』のご加入を頂きたくお願い申し上げます。また、ご友人や国際交流にご関心を抱かれている方々への紹介も合わせてお願いいたします。

末筆にになりましたが各位の益々のご健勝と弥栄を祈念いたしております。  
敬具

平成29年8月15日発行  
年4回発行(1・4・7・10月号)  
発行  
(学法) 日本力行会

〒176-0004  
東京都練馬区小竹町2-43-12  
電話 03-3972-1151(代)  
FAX. 03-3972-1264  
E-MAIL: rikko@rikkokai.or.jp  
ホームページ  
<http://www.rikkokai.or.jp>

### 訃報

永田 敏子 (永田泉元力行会理事長の奥様)  
2017年4月25日逝去、享年99才  
心よりお悔やみ申し上げます